

6. エコツーリズムフォーラム

第6回エコツーリズムフォーラム2017

『地域着地型観光DMOによる瀬戸内海エコツーリズムの運用』
～多様な景観と地産を「なりわい」とする元気な島々の活性化に向けて～



6. エコツーリズムフォーラム

第6回 エコツーリズムフォーラム 2017

Ecotourism Forum sixth 2017

～多様な景観と地産を「なりわい」とする元気な島々の活性化に向けて～

地域着地型観光DMOによる 瀬戸内海エコツーリズムの運用

開催日：2017年 **2月18日(土)** 13:00-17:00 (開場12:30)

会場：広島教育会館 ホテルチュリッヒ東方2001 4階

定員：100名 (事前申し込み制)

参加費：**無料** (資料代1,000円/希望の方のみ申し受けます。)

<プログラム>

オープニング

開会挨拶 (趣旨説明) 田中秀宜 一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会 事務局長

来賓挨拶 山本光夫 環境省 中国四国地方環境事務所 国立公園課 企画官

第1部 基調講演および活動報告

テーマ：「日本版DMOについて」

講演 太田雄也 国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長補佐

活動報告 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

第2部 パネルディスカッション

総合討論

テーマ：「瀬戸内海の資源価値を磨き活用し継承する観光スタイルのあり方」

～地域着地型観光DMOによる個性的なエコツーリズムの運用～

キーワード：エコツーリズム・地域着地型観光DMO・新瀬戸内法・全体構想・過疎化

◎コーディネーター

上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

○パネリスト

太田雄也 国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長補佐

加藤久美 和歌山大学観光学部副学部長 教授

岩瀬俊一 一般社団法人せとうち観光推進機構 事業副本部長

片岡正雄 愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会 会長

(愛媛県民環境部環境局自然保護課 課長)

村上律子 株式会社しまの会社 代表取締役

クロージング

閉会挨拶 森永 智裕 広島県環境県民局 局長

※プログラムは変更する場合がございます。

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会(構成：広島県、呉市、廿日市市、一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会)

後援：環境省中国四国地方環境事務所、EPOちゅうごく(環境省中国環境パートナーシップオフィス)、中国経済連合会、

NPO法人日本エコツーリズム協会、一般社団法人日本旅行業協会、株式会社中国新聞社、

学校法人鶴学園 広島工業大学、学校法人ひらた学園 IWAD環境福祉専門学校

協力：NPO法人自然環境ネットワークSAREN、NPO法人自然と釣りのネットワーク、ひろでん中国新聞旅行株式会社

日本ミクニヤ株式会社、総合技研株式会社

※フォーラム終了後、交流会を開催いたします！(場所：ホテルチュリッヒ東方2001)

是非、ご参加ください！(17:30-19:00 参加費4,000円)

※会場までのアクセス、お申込方法、お問合せは裏面をご覧ください。

※このフォーラムは、環境省平成28年度エコツーリズム地域活性化支援事業の一環として、運営しております。

日時：平成29年2月18日
13:00～17:00

場所：広島教育会館
ホテルチュリッヒ東方2001

参加費：無料

参加人数：100名 (関係者含む)



6. エコツーリズムフォーラム



主 催

瀬戸内ツーリズム推進協議会

構成：広島県・呉市・廿日市市・（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会

後 援

環境省中国四国地方環境事務所／EPOちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）／中国経済連合会／NPO法人日本エコツーリズム協会／一般社団法人日本旅行業協会／中国新聞社／学校法人鶴学園広島工業大学／学校法人ひらた学園 I W A D 環境福祉専門学校

協 力

NPO法人自然環境ネットワークSAREN／NPO法人自然と釣りのネットワーク／日本ミクニヤ株式会社／総合技研株式会社／ひろでん中国新聞旅行株式会社／山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会



6. エコツーリズムフォーラム

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として、エコツアーの構築・実践を行うことで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。日本国内は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人旅行者を対象とした新たなツーリズム構築や地域型DMOへの活発な動きが見られます。また、瀬戸内海では、2015年に瀬戸内法が改正され、自然景観と文化的景観の活用と保全のため、「エコツーリズムの推進」が明記されました。一方、瀬戸内海の島嶼部や沿岸域は急速な過疎化が進行し、無人島化による風土や伝統文化の消滅、自然環境資源の管理が課題となっています。そこで、「第6回エコツーリズムフォーラム2017」では、瀬戸内海における「地域型DMO」の適正で効果的な体制を構築するためのあり方について考えていきます。素朴な自然環境資源・文化歴史的資源や景観を観光資源として活用しつつ、従来の地域の価値と賑わいを取り戻すことを目標として、新たな生活システムと経済活動を創出し、「なりわい」としての生活形態が実現するようにエコツーリズムの推進を図っていききたいと思います。



Program

13:00

■オープニング

開会挨拶(趣旨説明) 田中 秀宜 一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 事務局長
来賓挨拶 山本 光夫 環境省 中国四国地方環境事務所 国立公園課 企画官

13:10

■第1部 基調講演および活動報告

13:10

基調講演 「日本版DMOについて」

蔵持 京治 国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長

14:20

活動報告 「平成28年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

■第2部 パネルディスカッション

総合討論 「瀬戸内海の資源価値を磨き活用し継承する観光スタイルのあり方」
～地域型DMOによる個性的なエコツーリズムの運用～

14:30

コーディネーター 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
ハネリスト 蔵持 京治 国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長
加藤 久美 和歌山大学 観光学部 教授・副学部長
岩瀬 俊一 一般社団法人 せとうち観光推進機構 事業副本部長
片岡 正雄 愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会 会長
村上 律子 株式会社しまの会社 代表取締役 (弓削島在住)

16:50

■クロージング

閉会挨拶 森永 智絵 広島県 環境県民局 局長

17:00

■記念撮影

17:05

■交流会

注:フォーラム終了後、交流会を開催いたします!(場所:ホテルチュリッヒ東方2001)
是非、ご参加ください!(参加費4,000円)

19:00

Profile



蔵持 京治 Kuramochi Kyoji 国土交通省 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長
1992年 東京大学法学部卒 2008年 長崎県警察本部 警務部長 (出向)
1992年 運輸省入省(運輸政策局 政策課) 2011年 内閣官房行政改革推進室 企画官
1994年 運輸省 観光部 旅行業課 2013年 株式会社日立製作所
情報通信システム社 担当部長(官民交流)
2003年 鹿児島県 観光政策課長(出向) 2014年 内閣官房副長官補室 内閣参事官
2006年 自動車交通局 旅客課 総括課長補佐 2016年6月より現職



加藤 久美 Kato Kumi 和歌山大学 観光学部 教授・副学部長
国際観光学研究センター 副センター長
クイーンズランド大学 客員准教授

クイーンズランド大学卒(PhD)。主な研究分野は観光とレジスタンス、コミュニティレジリエンス、環境倫理など。現在も避難が続く福島県飯館村での復興支援を続ける。
主な論文:Kato, K. (2015). Australia's whaling discourse: global norm, green consciousness and identity. Journal of Australian Studies, Vol. 39 (4), 477-493; Kato, K. (2015). Spiritual and Senior Engagement with the More-than-Human: An Ecochambers' Approach to Sustainability Learning. In: Seby, D. and Kogawa, T. Sustainability Frontiers: Critical and Transformative Voices from the Borderlands of Sustainability, Barbara Budlich.



岩瀬 俊一 Iwase Shunichi 一般社団法人 せとうち観光推進機構 事業副本部長

1981年 香川県入庁
2013年 同庁 政策部 県産品振興課長
2015年 同庁 大阪事務所長
2015年 せとうち観光推進機構 総務課準備室長
2016年3月より現職



片岡 正雄 Kataoka Masao 愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会 会長
愛媛県 県民環境部 環境局 自然保護課 課長

愛媛県大洲市生まれ。愛媛大学卒業後、愛媛県入庁。土木事務所課長補佐、南予地方地域政策課長を経て、2015年4月から現職。エコツーリズム推進の他、鳥獣対策や生物多様性推進、自然公園の適正な利活用施策の展開等、情熱を持って活動している。休日は趣味のサイクリングと登山を楽しむ。



村上 律子 Murakami Ritsuko 株式会社しまの会社 代表取締役
愛媛県越智郡上島町(旧弓削町)生まれ。1969年、尾道短期大学経済科卒業後、旧弓削町入庁。38年間行政に携わり早期退職。2015年10月より「株式会社しまの会社」代表取締役、「NPO法人 弓削の荘」理事、「NPO法人 しまの大学」理事、「かけ女性塾」代表、「おいでんさいグループ」代表。弓削島の特産品開発販売、島内外の交流、人材育成など、様々な地域おこし活動を実施している。行政や企業との協働、連携事業も展開している。
「地域活性化とは、地域の歴史、人、物、資源を活かし、人々が、生き活きと暮らせること。」



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現・産業技術総合研究所)以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授就任。2015年退職後、客員教授就任。2010年、「一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一般社団法人 大坂環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラumlサール条約連絡協議会」会長など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

- 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るため、エコツアーの本格的実施を行っています。
・宮島エコツアー(外国人旅行者向け・国内旅行者向け)
・安芸灘諸島エコツアー
・防予諸島エコツアー
- エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実を図るため、養成研修の実践的運用をおこなっています。
- エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
・エコツーリズムビジターセンターの機能提案
・未利用施設の活用による地域振興策の提案
・ネットワークの構築のためのインフラ整備提案
- エコツーリズム・フォーラムの開催
- エコツーリズム推進全体構想の申請に向けた取り組み



当日配布のパンフレット

6. エコツーリズムフォーラム

来賓挨拶



山本光夫（環境省 中国四国地方環境事務所
国立公園課 企画官）



森永 智絵（広島県環境県民局 局長）



6. エコツーリズムフォーラム

第1部「日本版DMOについて」

「我が国の観光の現状と観光政策 「日本版DMO」の形成に向けた取組」

蔵持京治（国土交通省 観光庁 観光地域振興部
観光資源課 課長）



「平成28年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」

上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）



6. エコツーリズムフォーラム

第2部「パネルディスカッション」

「瀬戸内海の資源価値を磨き活用し継承する観光スタイルのあり方」

～ 地域着地型観光DMOによる個性的なエコツーリズムの運用 ～

コーディネーター
パネラー

上嶋英機：瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
蔵持京治：国土交通省観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長
岩瀬俊一：一般社団法人 せとうち観光推進機構 事業副本部長
片岡正雄：愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議
村上律子：株式会社「しまの会社」 代表取締役

